

令和3年1月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和3年1月26日(火) 10時10分から11時53分まで

2. 場所

新宮町役場 3階第2委員会室

3. 出席者

宮川教育長、恵良委員、横山委員、本多委員、吉松委員

4. 欠席者

なし

5. 出席職員

森学校教育課長、西田社会教育課長、荒牧指導主事、豊釜指導主事、桐島社会教育課課長補佐、高木学校教育課主幹、三船学校教育課主幹

6. 欠席職員

なし

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

(宮川教育長) ただいまから教育委員会定例会を開会いたします。

10時10分開始

○ 日程第2 会議録署名委員の指名について

(宮川教育長) 会議録署名委員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は恵良委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

(宮川教育長) (管内教育長会議中止)

管内の教育長会中止のため、特になし

現在の学校の状況について

新型コロナウイルス感染症は、感染対策を十分に行い、教育活動を進めている。

教育課程の管理、児童生徒、教職員の健康管理を行いながら、年度末に向けて取り組みを進めている。

今後の学校行事のあり方等

卒業式、入学式、入学説明会について。

緊急事態宣言発出の状況のため、保護者来校、資料配布。質問は個別受付。

(宮川教育長) 質問はありませんか。(特になし)

○ 日程第4 議事の審議

第1号議案 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う新宮町就学援助規則の校外活動費の

特例を定める規則について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

(宮川教育長) 本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

第2号議案 新宮町公共施設予約システム構築業務プロポーザル審査委員会設置要綱の制定について

(西田社会教育課長) (議案により説明)

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

(宮川教育長) 本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

○ 日程第5 諸報告

1) 学校教育課の報告について

(森学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- ・ 資料「全国学力・学習状況調査において課題の見られた問題(令和2年度版)」について
- ・ 令和3年度福岡県学力調査の調査期日等について
- ・ 算数・数学における学習到達度診断シート「未来への一歩」を活用した学力向上の取り組みにおける調査に係る実施部材の送付について
- ・ 資料「未来へのもう一歩～令和2年度末の学習の充実にむけて～」の配布について
- ・ 「不登校の未然防止・早期対応の5つの視点」リーフレットの送付について
- ・ 工事の状況について
G I G Aスクール事業
新宮町立学校扇風機設置工事
新宮中学校校舎接合部改修工事
新宮小学校北棟非常扉改修工事
新宮東小学校教室増設工事

② 連絡事項

- ・ 令和2年度長期派遣研修員最終報告会の開催について
- ・ 令和2年度福岡教育大学教職大学院研究報告会について

③ その他

- ・ 道雪会より書籍寄贈について
- ・ 令和2年度グランドデザイン最終報告会について

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

2) 社会教育課の報告について

(西田社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 令和3年成人式参加状況

② 協議事項
特になし

③ その他

- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定

(宮川教育長) 質問等はありませんか。

(本多委員) 成人式について、通常どおりの成人式ではなく、保護者の参加ができなかったことは非常に残念だったが、開催していただいたことに対し、非常に感謝しているということも多くの方から聞いていますのでお伝えします。

(宮川教育長) 他に質問等はありませんか。(特になし)

○ 日程第6 その他

1) 町立幼稚園について

(森学校教育課長) 町立幼稚園の統廃合についての考え方をまとめます。長期的なビジョンに立ち、進めたほうが良いという意見がありましたが、まずハード面、建物について考える必要がある。

今後も新宮東幼稚園を使う場合、早急な改修の必要がある。

次に幼児教育無償化となった去年、入園申込みは減少せず、今年減少した、その違いを検証する必要があるが、アンケート等実施できていない。園の職員が保護者から聞いた話では、働かないといけないと聞いた。

そのような中、年少40人の申込みは、公立幼稚園としてのニーズはまだあると思われ、子どもが減少する状況で、公立幼稚園のニーズをどこまで維持できるかももう少し時間をかけたいと個人的には考えている。

まず、新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合、その後、数年かけ減少状況を確認し、立花幼稚園も含め、今後の幼稚園のあり方を考えた方がよいと思う。

1学年40人規模だと、各学年2クラスずつの確保ができる状況。

そうすると、園としての体制、集団生活を教育の場として提供するという意味では、成立する。

スケジュールについて。

統廃合であれば、来年度申込み間に合わせる必要がある。4月あるいは5月に総合教育会議で、町長に意見を返し6月議会で報告、9月入園説明会周知、10月説明会実施となり、説明会では統合することを伝える必要がある。

よって、3月までには教育委員会としてある程度の道筋、長期的な部分の判断時期、統廃合の有無、統廃合の対象となる幼稚園の決定をしていただきたい。

(宮川教育長) 町長から今日の総合教育会議で、3園の存続、統合、民営化など、あらゆる可能性と課題について検討要請があった。園児数の推移、人口等含め、教育委員会として今後どうしていくのか、10月には4年度の入園申込みが始まるため、今の状況を変える場合、説明が必要になる。

今の状況をどのようにとらえ、どのような方策を示していくのか、ご意見等いただきたい。

(吉松委員) 新宮町総合教育会議、昨年度の議事録を確認した。

去年は統合する方向性で決まったように受け取ったが、まだ流動的ということか。

(森学校教育課長) 町の方針としては統合をお願いしたいということだったが、昨年度は、無償化の影響による減少が見られず、その時点で教育委員会としてはまだ判断できないと話をした。今回は、かなりの減少状況であるため、ある程度統合の道筋は、町の執行部側の方針に従って進める。

(吉松委員) 子どもを預ける側としては、遠くなるのはすごくハードルが高くなる。できる

ならそのまま、より一層就学前教育をきめ細かにしていくことがいいと思うが、統合が決まっているのであれば考え直さなくてはいけない。

(森学校教育課長) 財源に限りがあり、全ての公共施設について効率的な運用の見直しを指摘されている。当町の場合小中学校は、現在も増加傾向であり、統廃合という話にはならない。

しかし、幼稚園は減少しているため、統廃合について議論の必要がある。また、施設の効率化という面では、人口減少にある市町村については小中学校の統廃合が進められている状況もあり、そこは避けて通れない。

(吉松委員) 預ける側のニーズをよく考え、統合するにしてもその辺をクリアできるような方向性でという話か。

(森学校教育課長) 両者にメリットがあるという状況、選択肢は難しいとは思う。どこかに負担をかける形にはなる。近いと徒歩通園が可能だが、どちらか一方になると、町内全域になり、車での送迎を許可する必要が出てくる。そこは今後詰めていく課題になる。単純に施設面からいうと、新宮幼稚園の方が新しいので、そちらになると思う。新宮東幼稚園に統合すると改修が必要なため、効率的な運営を考えると少し厳しい。送迎の面では、駐車場に余裕がない新宮幼稚園は厳しい。費用対効果を考えたとき、どちらに費用をかけるべきかという話になる。

(本多委員) 昨年新宮東幼稚園の統廃合の話のとき、残す形がいいと言ったが、総合するとその方向に進んでいくと思う。ただ統廃合しても、来年度の応募人数が増える保証は何もない。まずは今年の年少の応募が40人だったことについて、アンケートなどで町立幼稚園を選んだ理由を分析し見解を見る。小中学校との連携、地域に根差していることは理解されていると思うが、それがどれくらい大事かという1点だけでは人が集まらない。時代のニーズに合わせ、変えていく時期が来ていると思う。

町立幼稚園のメリット、ここだったら行かせたいと思う何かがないと、統廃合をしても、また40人、50人だったという結果になりかねない。

私立幼稚園は、バレエやピアノなどアフタースクールが多いうえ、移動の必要がなくそのまま幼稚園で受けることができる。メリットが多く、競合すると負けると思う。

公立で特別なサービスや民間を入れるのは難しいと思うが、そういう方向で考えていかなければ、統合しても難しい。長期の目で構築していかなければと非常に思う。

(森学校教育課長) 公立の幼稚園が存続できない。端的に言えば廃止されている傾向というのは、今言われていることが課題だと思う。それぞれの公立の幼稚園としての独自性をどこで示していくか、それが難しい状況になったときに、廃止という選択をしているところが増えてきていると感じる。

町立幼稚園として残す方向で進めているので、特性を持たせる内容は、検討する必要がある。すべてクリアできるような、画期的な方法があるかと言われると難しい。現状維持、もしくはその内容を充実することを考えていくことからだと思う。

(横山委員) 一番根底にあるのは法律の壁だと思う。

幼稚園と保育園の部分で、法律が変わらない限り、幼稚園は今までと同じ運営をしていかなければいけない。しかし、時代はどんどん変わっているということを考えたときに、果たして幼稚園が存続できるのか考えた。世の中テレワークが増えているが、テレワークが進めば、保育園の方は、さらに需要は出てくると思う。長い目で見たら幼稚園は、なくなっていく方向に向いていると思う。何らかのメリットがない限りは、存続は本当に厳しくなっていく。今の人数的な数値で見れば統廃合はやむなしとは思う。このままだと、もう5年後は廃止の話が出ていのではないかと思った。

廃止か、未来永劫町立幼稚園として存続で考えるのか、2～3年後も同じように存続か廃

止かという話が出て、結果的に手を打てず、廃止ということにならないよう、この幼稚園のメリットというものを、保護者に訴える機会と、訴えられる中身を打ち出していかなければいけないと思う。

(宮川教育長) 私立と競合しようとは全く思っていない。私立は経営者の方針のもとに進められており、色々な新しいことに取り組みされている。町立としてずっと教育長として見てきたときに、やはり強みは小学校、中学校とのつながりというところで、小・中学校から見ても町立の幼稚園があるので、振りかえって色々なものを構築できるというところがある。

小学校就学後の教育を考えると、就学前の町立幼稚園の取り組みあるいは園児の姿、そこをもう少し打ち出す必要がある。

本年度40名応募があったが、保護者が何を求めているのかアンケートをとる必要があり、調査が必要だと思う。もう一つは、町立幼稚園の定員をしっかりと設定し、10年後の規模、統廃合、民営化も含め整理をして、次回の教育委員会で深める必要があると思う。

今のままでは、不安が広がるばかりで、もっと明るい展望が見えるような検討協議をしていかねばならないと思っている。

定員の見直し、それから実態調査アンケートをとるという方向でよいか。

(吉松委員) 教育保育ニーズを地域的に補完する役割、立花幼稚園の預かり保育、こういうことが新しく統合された後の幼稚園でも可能か。

(森学校教育課長) 町の方針としては、就労対策のための預かり保育は保育園がするという位置づけになっている。立花幼稚園で実施している理由は、立花小学校校区に保育所がないため、地域の格差是正のため、そこを補てんする目的で、立花幼稚園で預かり保育をするという方針になっている。

存続の一つの手段として預かり保育をすると、町全体の保育ニーズについて再度検討し直す必要が出てくる。保育園も経営がかかっているので、保育園が成立するために、子どもを集めないといけない。町としてそのニーズを幼稚園のほうに流すような施策はなかなか難しい。

(吉松委員) 今待機児童もまだ解消できていないなかで、それは絶対難しい、考えられないということか。

(森学校教育課長) 待機児童は3歳児未満が多く、低年齢の入所が多くなればその人数に合わせ保育士が必要となり、保育士の確保ができないため待機児童が多いと聞いている。

(横山委員) 幼稚園職員もこの先どうなるのか不安に感じていると思う。方向性を示さないと職員も働く気力を失う。一斉退職ということになれば、幼稚園の運営がたち行かなくなるので、職員のケア、職員が安心して働ける環境はつくっていただきたい。

(森学校教育課長) クラス数が減れば当然職員の数が減る。

現状の園児数であれば、2園の状態、職場の環境を維持できる。

今後クラスが減り職員も必要なくなってくると、現状の数字だけでは判断が難しい。減少の時期や数値がどう変化するのか、当面は2園統合することを一つの問題として考えることと、将来更に減少したときに、人数の定義を何人にするのか、立花幼稚園の存続についての議論も出てくる。まだ先だと思うが、民営化についても検討する必要が出てくる。職員の問題もあるため、存続していく努力はしていかないといけない。

当面は新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合を、どのように進めていくかを考え、それ以降町立幼稚園としての存続の方法、廃止する場合はどういう場合に廃止するのかを考えていかなければと思っている。

(横山委員) 幼稚園の正規職員は、新宮町役場の職員か。それとも、そこに限定した幼稚園の先生として採用されているのか。

(森学校教育課長) 以前は幼稚園職という専門職だったが、今は町職員の一般職の位置づけに変更になっている。本人の意向なしに一般的な事務の部署に移ることはない。

(恵良委員) 要は該当者への周知の仕方。結論は出ていたはずと後で蒸し返される印象を持たれるとよくない。一貫して変わらない方法、方針なり、やり方を早く周知すれば、大半の不満は回避できる。

(森学校教育課長) 新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合方針を確認し、統廃合することについて、1年かけて、アンケートをとり分析しながら、検討してはどうかと思っている。まずは、新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合。その方針を決めれば、保護者の方にも周知はできる。

(本多委員) できるだけ早く周知されると、心構えや準備ができていい。

統廃合になったときの周知の仕方ですが、そこに魅力を感じ、付随した形で周知できないと、そこ以外の選択肢がないという印象を持たれると、廃止のほうに進んでしまう。

統廃合を決めることは大事だと思うが、その部分をしっかりと見ていかないと、横山委員が言われたような結果になると思う。

幼稚園があってしかるべきだと思っていたが、民間に任せるとか私立幼稚園と町の小中学校が連携するという方向を模索することになるのか、そこをはっきりしていたほうが、教育的な観点から見たら、幼稚園の教育と小・中学校の教育をつなげるという観点から見たとき、町立幼稚園を要とするのか、それとも一般の私立幼稚園で新宮町内の子どもたちのことをしっかり考えるのかということ考えたときに、とても大切なことだと感じた。

(宮川教育長) 連携については、町立幼稚園が要となると思う。その中に、保育所や私立幼稚園を巻き込んだ形で進める事が一番理想的。

もう1点はその周知の仕方。展望が持てるような形を考えていかなければいけない。もう一つ気がかりなのは、町立幼稚園自体がなくなったとき、障害などが原因で行き場のない子どもが出てこないかという心配がある。そういうところも含め、これまで就園の機会をより広く提供してきた部分は大事になってくる。

特別支援学校等の選択肢もあるが、そこには入らないが、何らかの障害があり、どうしても私立、保育所には行けないというお子さんが出てこないか、少人数だと思うが、そういう事も考えながら広く就園の機会を提供するという部分も外せない。次回の教育委員会は、柱を絞って協議をする。そして、できるだけよい方向で結論が見出せるように、御意見を伺いたいと思う。

(森学校教育課長) 必要な資料があれば用意します。

(恵良委員) 保育所の現状を知りたい。

(森学校教育課長) 可能な情報を集めて、次回提示します。

(宮川教育長) では、幼稚園についてはここまでです。

2) 教育委員会定例会の日程について

(森学校教育課長) (日程確認)

- ・ 2月定例会
令和3年2月17日(水) 9時30分から
- ・ 3月定例会
令和3年3月19日(金) 9時30分から
- ・ 3月臨時教育委員会
令和3年3月24日(水) 16時00分から

○ 日程第7 閉会の宣告

(宮川教育長) 以上で1月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

11時53分終了

署名 教育長 宮川 優子

署名 委員 恵良 周司